

コスモス 7月号

第68巻 第7号

◆宮柊二カレンダー(16) 七月の歌

合^{ねむ}歡^むのはな^{あか}紅^{あか}なまぐさく咲^むきつぎて家族七人
顔古び生く
歌集『藤棚の下の小室』

初出は昭和三十六年「コスモス」八月号。その時は「合^{ねむ}歡^むのはな^{あか}紅^{あか}なまぐさく咲^むきつぎて顔古びゆく家族七人」。青春期の代表歌「昼間みし合^{ねむ}歡^むのあかき花のいろをあこがれの如くよる憶^むひをり」と比べると、年齢のにじむ一首である。

そうはいつてもまだ四十八歳。老いに対する意識が鋭敏な作者ではあったが、加えて前年(昭和三十五年)十月に、長年勤めた富士製鉄を依願退職しているから、家族への責任をより重く自覚する日々であったにちがいない。
(小島ゆかり)